



次のステップに向かって

学校長 岡崎 宏一

2021年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、そして2022年は冬季オリンピック・パラリンピック（2月）が北京で開催されています。世界規模で感染が広がっている新型コロナウイルスが心配をされているところですが、この大会は「平和の祭典」であり、“近代オリンピックの父”と呼ばれたクーベルタンは「スポーツを通じて平和な世界の実現に寄与する」ことをオリンピックの目的に掲げ、また「勝敗だけでなく、ルールを遵守(じゅんしゅ)し、正々堂々と全力を尽くす」という「フェアプレーの精神」がオリンピックで掲げられています。この時を大切にし、心の1ページに刻んでほしいと思います。

さて、3年生は、早いもので、来週には県立高校の願書・調査書を提出します。県立高校の一般受検日は、3月3日（木）で、特色選抜は3月4日（金）です。3年生にとっては、残すところ1ヶ月となりました。義務教育の集大成として自分の力を思う存分発揮して欲しいと思います。

そして、受検で努力している姿をみると胸が痛みます。3年生にとって、今が一番の頑張り時ではないでしょうか。「佐野中魂」として、体調を崩さず何とか乗り越えて欲しいと思います。私たち教職員も、一人一人の生徒に励ましの言葉をかけ、最終学年にふさわしい有終の美を飾れるよう全力で取り組んでいきます。

1・2年生にとっては、次の学年への準備となります。2・3月は、今年度不十分な部分をしっかりとめ、次の学年へと結びつけていってください。

最後になりましたが、冬の寒さのなか、鮮やかな深紅の花を見せてくれる寒椿に出会うと、厳しい寒さに耐えて凛としている花に感動を覚えます。便利な世の中で、快適に過ごしている現代人に「時には厳しさに耐えることも必要だよ」と諭しているように見えてきます。

どうぞ体調を崩さずこの寒さを乗り越えていってください。

令和4年2月の主な行事予定

2月 1日	実力テスト（3学年）
2月 8日～10日	県立高校 一般入試出願
2月11日	建国記念の日
2月15日～16日	学年末テスト（1・2学年）
2月17日～18日	志願先・志望先変更期間
2月21日	いじめに関するアンケート
2月22日	授業参観・懇談会 学校運営協議会
2月23日	天皇誕生日



1月7日(金) 今冬初の積雪の様子

〈ノロウイルス対策について〉

ノロウイルスは、11～3月に流行する「感染性胃腸炎」の原因となるウイルスです。冬期が発生のピークではありますが、最近では年間を通して全国的に報告されています。人から人へ接触感染するほか、ウイルスに汚染された食品を食べることで感染します。

ノロウイルスの潜伏期間は1日～3日。主な症状としては吐気、嘔吐、下痢、腹痛などが見られます。（もちろん個人差はありますが）通常これらの症状が1～2日程度続いた後、次第に回復するようです。

予防方法は、**最も有効な対策は手洗いやうがい**です。帰宅時や調理を行う前、食事前、トイレの後には必ず手を洗いましょう。

免疫力を高めることで、感染を防ぐことができます。栄養バランス、十分な睡眠、適度な運動など、生活リズムを整えることでノロウイルスの感染から身を守ることができます。

〈ハンカチ、ハンドタオルの準備について〉

感染症対策を含め、十分な手洗いを励行しているところですが、手洗い後の様子を見てみると「ハンカチやハンドタオル」を用意せず、手を拭かない場面も多く見られます。

衛生面を考慮して、清潔なハンカチやハンドタオルなどを必ず準備するように心掛け、手洗い後には、必ず手を拭く習慣をつけることが大切です。



〈第71回社会を明るくする運動〉

作文コンテスト

【優秀賞】茨城県教育長賞受賞

「**知ること**」

〈大型モニターのカバー完成〉

工芸部のみなさんの協力で、大型モニターのカバーが完成しました。

校内ほとんどの大型モニターの保護に役っています。工芸部のみなさん、ありがとうございました。



〈新型コロナウイルス感染拡大に伴う部活動について〉

現在の感染拡大状況を踏まえ、部活動はしばらくの間、以下のとおりです。

（ひたちなか市中学校統一事項）

- （1）活動は校内活動のみとし、対外試合等は自粛する。
- （2）校内活動は、感染防止対策を十分に行った上で、実施可能とする。

引き続き、朝、余裕をもった登校（行動）に心掛けてください。

立春を迎え、暦の上では春を迎えましたが、朝は布団や温かい部屋から出にくい状況が続いております。慌てて家を出て、登校時刻ギリギリで走って来る生徒も、依然としてなりません。

雨天や降雪、路面凍結等で、転倒や自転車の運転操作を誤り、大きな事故に発展することも予想されます。普段よりも時間に余裕をもった行動に心掛け、『**自分の安全（命）は自分で守る**』ことを念頭に置き、防げる事故やケガに遭わないように心掛けてください。